

---

---

# 教育総合センター だより

NO. 120

平成 23.5.1

---

---

## 信頼と絆

尼崎市立教育総合センター  
所長 西本 由美



この度の東日本大震災におきまして、被災された皆様、ご家族の皆様にご心からお見舞い申し上げます。また、被災された地域の日も早い復興とともに被災された人々に安心と安全が戻ることを願ってやみません。

現地では、今なお大きな余震や放射能汚染の問題があり、不安と混乱が続いていますが、最近の報道では、避難所での困難な生活を支え合う人々、全国から駆けつけたボランティアの活躍、復興に向けた様々な取り組みなど、希望を抱くことができる話題も増えてきました。

これらのニュースを見ていると、16年前の阪神大震災のことを思い出します。あの時、暗がりの中を手さぐりで外に這い出し、後ろを振り向くと家は壊れ、静かに土煙が立ち上がっていました。薄暗がりの冷たい空気の中、隣家の人たちも出てきて、まだ顔を見せない家へ一緒に声をかけて回りました。あの時も、自然の力の大きさに圧倒されそうになりましたが、いち早く駆けつけてくれた家族や友人、近所の方々の暖かい声かけや水等の差し入れなど、人とのつながる力に助けられ、立ち上がる勇気をいただきました。生物は環境に適応して生きていますが、環境を変える力も持っているように、人は災害を受けても自ら回復する力を持っています。

さて、学校・園では新しい学期が始まりました。兵庫県にも東北や関東地方から親戚を頼って避難してこられた方があり、文部科学省は転入について、柔軟な受け入れをするよう通知を出しています。既に、学校・園への転入生の受け入れも開始されて

います。避難してきた子どもたちの被災状況はそれぞれ異なりますが、慣れない土地での生活は、さらにストレスをため込む可能性も持っています。

ところで、このような生命に関わる危険な体験をすると、誰でも恐怖感が高まるのは当然で、心や身体に大きなストレスを抱え、様々な身体症状や赤ちゃんがえりなどの行動が現れることがあります。これは、異常な体験に対する正常な反応です。このことについて、本人だけでなく周囲の子ども、保護者、教職員へも周知し、理解を図っていく必要があります。また、「質問攻めにしない」こと、自らの体験や心にため込んでいる恐怖や不安を「自分から話せる雰囲気」や安全で安心できる環境づくりも重要です。そして、本人のペースに合わせ、楽しいことを一緒にやりながら元気を回復していく活動が大切です。

今回の震災では、実際に被害に遭っていなくとも連日のテレビ等の映像から、子どもたちが大きなショックを受けている場合もあります。各学校においては、子どもたちが安心感を取り戻すよう担任や養護教諭が中心となって、教育相談、健康相談を進めるとともに、必要がある場合は、スクールカウンセラーや専門機関と連携することも大切です。さらに、仲間づくりや学級づくり、保護者との関係づくりなど、人と人の絆づくりに力を注ぐことが益々重要となります。

今年度、教育総合センターは、「信頼と絆」をキーワードに、子ども、教職員、保護者、学校への支援を展開します。

## 教育総合センターの事業の概要

教育総合センターは、中核市移行3年目を迎えました。本年度も、研修、情報教育、教育相談の3担当で学校を支援していきます。

### 1 研修担当

研修担当は、研修業務と教育研究業務に取り組んでいます。

#### (1) 受講しなければならない研修

校・園長研修など職階別研修、ミドルリーダーなど職務に応じた研修を実施します。教職年数別研修では、1年目から中堅教員まで、幅広く教師力を高めるための研修を計画しています。中学校の学力向上に寄与するため、授業力向上に向けた3回シリーズの講座を引き続き実施します。

#### (2) 希望による研修

学校現場が抱える諸問題の解決をサポートするため多様な研修講座を次の分野別に設定しました。

(ア) 今日的課題に対応した研修

(イ) 子ども理解のための研修

(ウ) 教科等の指導力向上を目指した研修

今日的課題に対応した研修では、教育の情報化推進に伴い、セキュリティなどに関する研修の充実に努めます。授業実践力の確かな育成を図るため公開授業講座を増設します。3年目教員には、授業者の決定から反省まで全てに参画する研修を地区ごとに実施します。さらに授業力向上を目指して、マイスター教員による公開授業を実施します。若い同世代の授業は、日々の授業改善に役立て、マイスターの授業は、理想の授業像を確立するために役立てていただきたいと考えています。

#### (3) 特別に実施する研修

特別に実施する研修ではICT関連と小中連携をテーマにした研修を予定しています。さらに、喫緊の課題に応じた研修を実施します。

#### (4) 自主研修等の支援

夜間及び休日等を実施する自主研修支援を継続します。若い教員を中心としたスポーツ活動グループ、パソコンを活用した事務の効率化研修の支援や、臨時講師の自主研修支援にも取り組みます。

また、学校ICT機器の効果的な活用、個別ドリルシステムの活用、学校・園ホームページ作成を支援する研修等で、指導主事等を学校・園に派遣し、出前講座を実施します。

#### (5) 教育研究

教育長から委嘱を受けた教員が研究員となり、当センターの担当指導主事等と共同で、実践的な研究に取り組みます。年度末に各部会による研究発表会を予定しています。

### 2 情報教育担当

学校ICT・学校情報通信ネットワークシステムの活用、教育の情報化推進に向け取り組みます。

#### (1) 学校ホームページ関係

・申請受付処理、更新(随時) 学校・園ホームページ作成支援研修など

#### (2) 研修関係

・教育用システム管理  
・プレゼンテーション入門  
・小学校初任者対象の情報教育研修  
・情報モラルセキュリティ入門  
・表計算ソフト活用  
・コンテンツマネジメントシステム  
・視聴覚教材作成講座 - ビデオ編集等  
・学校事務処理支援システム

#### (3) 学校ICT関係

・学校ICT活用特別研修  
・ICT機器、校内LAN等の整備推進

#### (4) AMA-NETの管理

・サーバ、ネットワーク、メール等  
・データベース管理

### 3 教育相談担当

教育相談担当 8 名は、子どもたちが心身ともに健やかに育っていくことを願い、子どもや家庭、学校を支援する立場で充実した対応を図ります。

#### (1) 事業内容

##### 教育相談事業

面接相談、電話相談、出張相談等により、幼児児童生徒（4 歳～18 歳までの子ども）の望ましい発達を支援します。

心療内科医による教育相談も行います。

##### 高等学校カウンセラー派遣事業

市立高等学校にカウンセラー等を派遣し、教職員の研修や心の悩みをもつ生徒及びその保護者の面接相談等を行います。

##### スクールカウンセラー配置事業

県教育委員会が、19 全中学校及び 8 小学校にスクールカウンセラーを配置します。通学区域の小学校も活用できます。

#### (2) 教育相談の現状

平成 22 年度の相談件数及び活動内容は次のような状況です。

面接相談（延べ）	3,167 件
電話相談	1,546 件
出張相談	
幼児児童生徒対象	57 件
子育て研修会等講話	6 件
面接相談内容	
精神情緒（不登校等）	38.1%
性格行動（友人、親子関係等）	51.0%
身体言語（発達遅滞等）	2.5%
学業進路（進路等）	7.4%
その他（教員の相談等）	0.9%

### フィルム・ライブラリーのご案内

視聴覚センターでは、視聴覚教材・教具の貸し出しや活用の助言等を行っています。

1 利用時間 9 時から 17 時まで  
（土・日・祝日、年末年始を除く）

2 学校関係者が利用する場合

(1) 貸し出しの申込み

申込書に必要事項を記入し、利用される 3 日前までに視聴覚センターに提出してください。

(2) 貸し出し数量・期間

教材 1 回につき 4 本以内で 4 日以内

教具 1 回につき 1 台（式）で 4 日以内

(3) 利用報告書の提出

視聴覚教材・教具利用報告書に記入し、これを添えて提出してください。

3 16 ミリ教材・教具の貸し出し

16 ミリ映写機及び 16 ミリ映画フィルムの貸し出しについては、当センター発行の認定証又は 16 ミリ映写機操作技術講習会を受講したことを証明する物を所持している方が対象になります。

4 その他

申込み等の用紙は視聴覚センターまで

問い合わせ先 6423 - 3400

貸出し対象の教材・教具

教 材	16 ミリ映画フィルム	390 巻
	スライドフィルム	16 巻
	ビデオテープ（録画教材）	663 本
	T P 教材	9 本
	C D	9 本
教 具	D V D	53 本
	16 ミリ映写機	10 台
	スライド映写機・OHP	各 1 台
	DVD プレイヤー	2 台
	スクリーン	12 枚

# 教育総合センター事務分掌表

平成23年4月1日現在

教育総合センター所長 西本 由美		
<b>研修担当 6423-3400</b>		
教職員研修 教育に関する調査・研究・教材開発 教育総合センターの運営・計画調整 予算管理 文書管理 教育情報収集・整理・提供 情報誌の発行 教科書センターの管理		
係長	兼田 隆男	研修担当の統括、校園長研修、特別研修、児童生徒文化充実支援事業 教育総合センターの運営・計画調整、予算・管理
指導主事	樋口 博子	養護教諭、10年経験者、1年目教員公開授業、マイスター(小)、派遣研修
指導主事	藤井健三郎	マイスター(中)、2年目教員公開授業、中学校全体教科研究会、英語、理科、高等学校研修
指導主事	寺田 忠司	新任校園長、外国語活動担当教員、初任者、2年目教員、4年目教員、5年目教員 15年目教員、20年目教員、マイスター(小)、県立教育研修所関係、児童生徒文化発表会
指導員	仁科 良久	ミドルリーダー、常勤臨時講師、管外転入教員、7年目教員、中学校数学 4年目教員公開授業、マイスター(中)
主任	池内 猛	予算・決算、複合施設の維持管理、庶務
嘱託員	眞鍋 憲司	情報誌の発行、学級経営相談、生涯学習施設連絡会議
嘱託員	幾田みよき	資料の収集・整理・提供、教科書センターの管理
臨時職員	久保 泰子	管理業務事務補助
<b>情報教育担当 6423-3400</b>		
教職員研修 情報教育に関する調査・研究・教材開発 ICT活用・ネットワークシステム活用 複合施設の維持管理 視聴覚センターの運営・計画調整		
総括・係長	松田 光二	情報教育担当の統括、研修管理、視聴覚センターの運営・計画調整 教育の情報化推進、文書主任
指導主事	大濱 洋治	新任管理職PC、AMA-NETの管理(ネットワーク・メール・データベース等)
指導主事	田中 東吾	ドリルシステム、小学校PC、特別支援学校PC、琴城分校PC
指導員	民谷 洋二	学校ホームページ、中学校PC
指導員	多田 健次	情報教育に関する調査・研究・教材開発
嘱託員	上玉利敏昭	学校事務処理支援システム関係、視聴覚ライブラリー管理、16ミリ映写機操作技術
臨時職員	吉廣 千尋	情報教育ネットワーク管理事務補助
<b>教育相談担当 6423-2550</b>		
教育相談(面接、出張) 高等学校カウンセラー派遣事業 心療内科医による教育相談 電話相談 スクールカウンセラー配置事業 教育相談に関する調査・研究・研修		
係長	荒木 伸子	教育相談の統括
指導主事	青木優樹恵	教育相談、高等学校カウンセラー派遣事業、スクールカウンセラー配置事業
嘱託員	岡本 敦	教育相談、調査研究
嘱託員	田中 優喜	教育相談、調査研究
嘱託員	立花 直子	教育相談、調査研究
嘱託員	太田 有希	教育相談、調査研究
嘱託員	清水 陽三	電話相談、調査研究
嘱託員	奥田 佐恵	電話相談、調査研究
相談の受付は午前9時から午後5時30分です。		
<b>開館時間のご案内</b>		<b>発行</b> 尼崎市立教育総合センター 尼崎市三反田町1丁目1番1号
平日 午前9時～午後9時 (土・日・祝日・年末年始は利用できません。)		<b>発行者</b> 西本 由美
		<b>題字</b> 尼崎市教育委員 岡本 元興